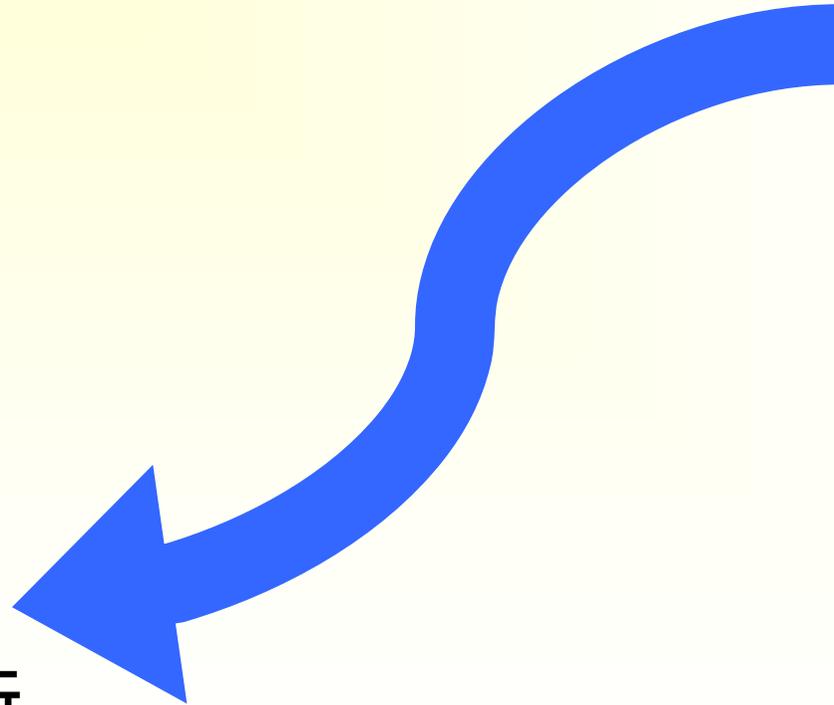


アクセシビリティは
ユニバーサルデザインと
支援技術の共同作業である

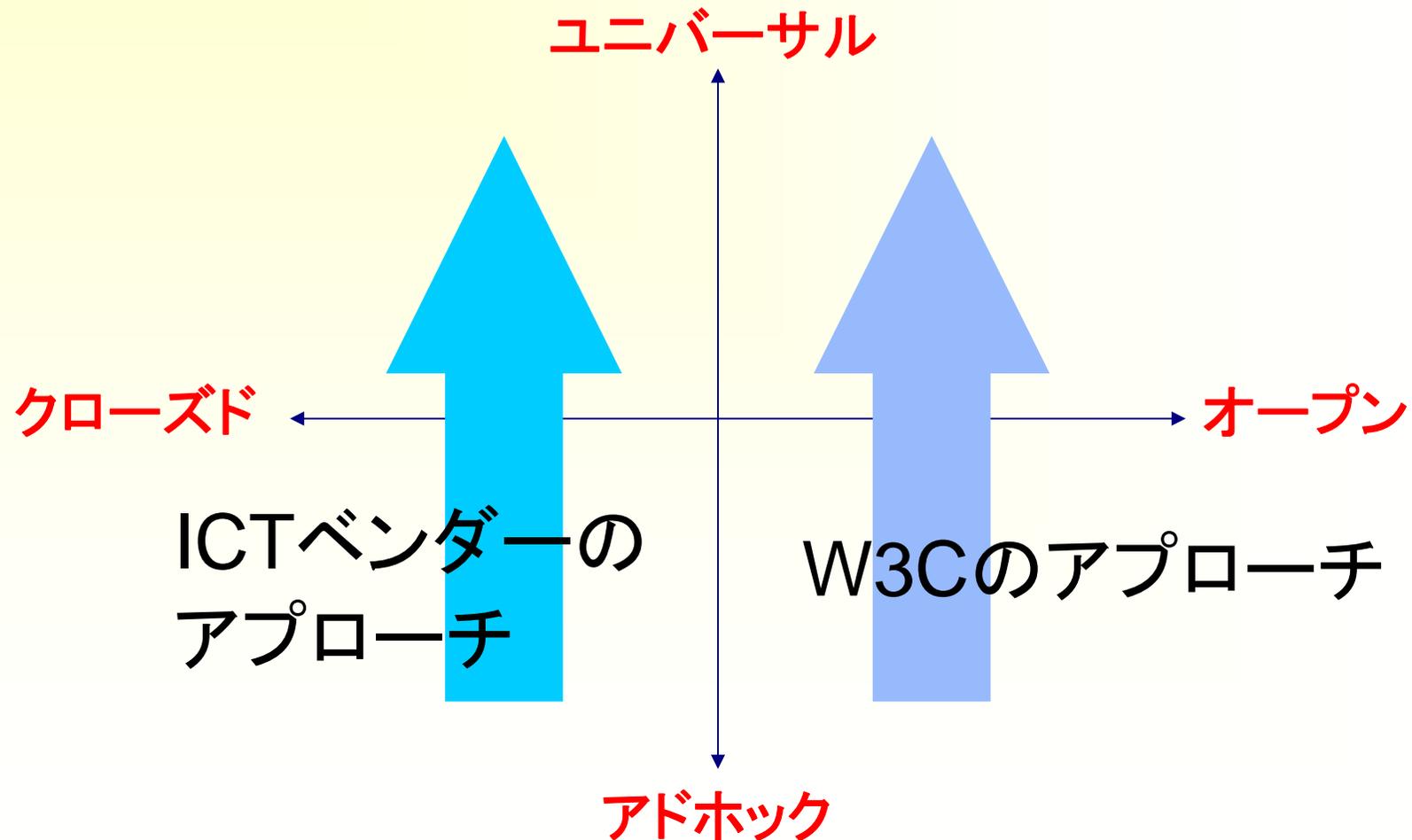
理想はマシンアンダスタンダブル

ユニバーサルデザイン

支援技術



アクセシビリティの2つのアプローチ



ビジネスモデルとアクセシビリティの 両立問題

Music Store

iTunes

iPod

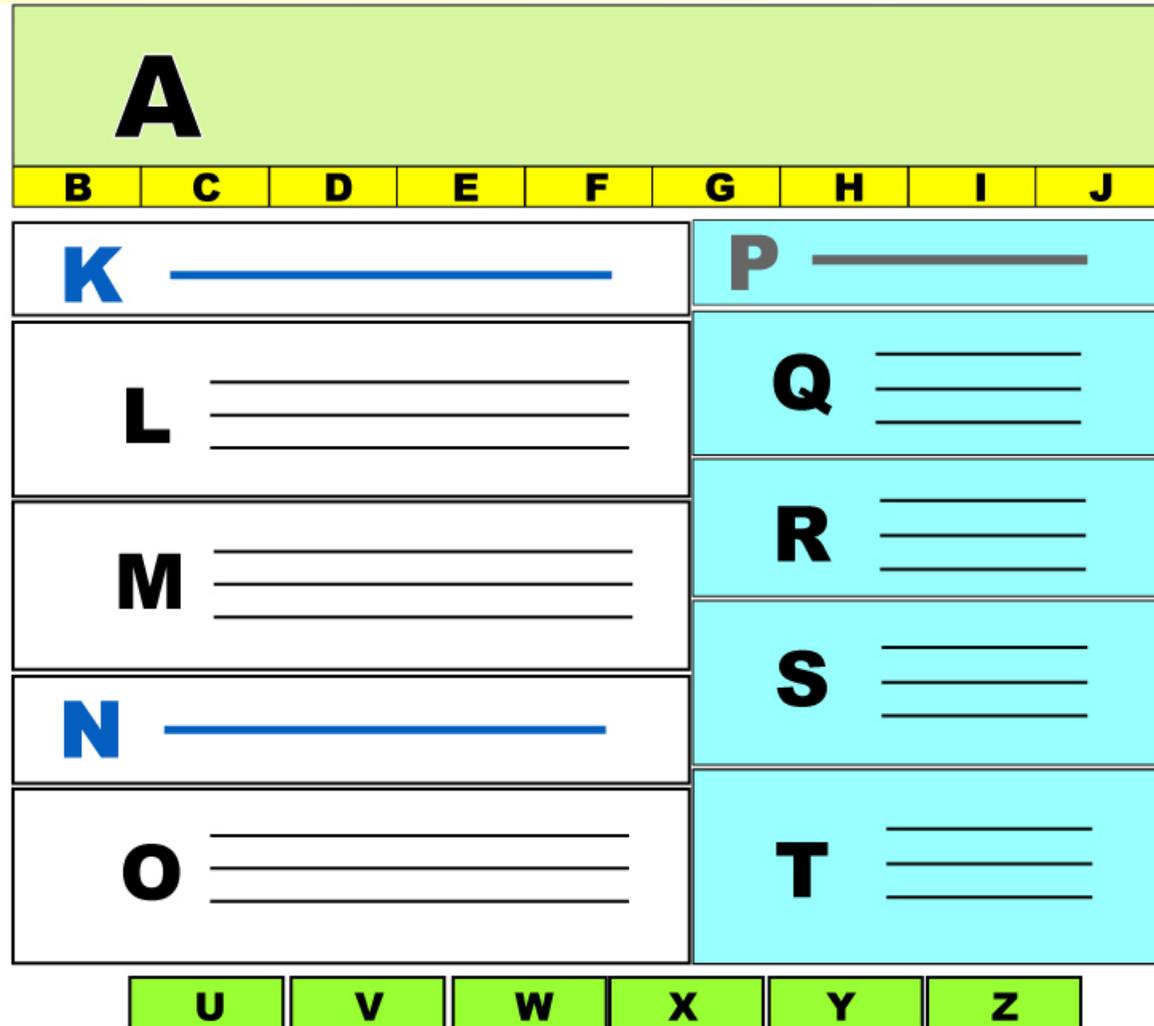
WWWの流れ

- 1989年、ティム・バーナーズ＝リーは、CERNでネットワークを使ったハイパーテキストシステムの導入を提案。
- 環境に依存しない情報共有を実現するためのユニバーサルな約束→URI, http, htmlの3ルール
- 1993年にはモザイク、1994年にはネットスケープ
- 1994年にW3C設立。企業や研究開発機関がメンバー。公的な標準化団体ではないが、WWWのデファクトスタンダードを策定。
- W3Cがアクセシビリティに力を入れるようになる。コンテンツ、ブラウザ、オーサリングツールのアクセシビリティガイドラインを策定。
- 情報処理、情報交換のコンピュータによる自動化のためにXMLを開発。html→xhtml
- さらにセマンティックウェブへ

視覚ブラウザと音声ブラウザ

- 視覚ブラウザと音声ブラウザではまったくレンダリングが違う。
- 大部分のコンテンツは視覚的な表現だけを念頭に作られている。音声ブラウザはユーザに十分な情報を提供できない。
- 通常、音声ブラウザがレンダリングにおいて利用できる論理構造情報は提供されない。

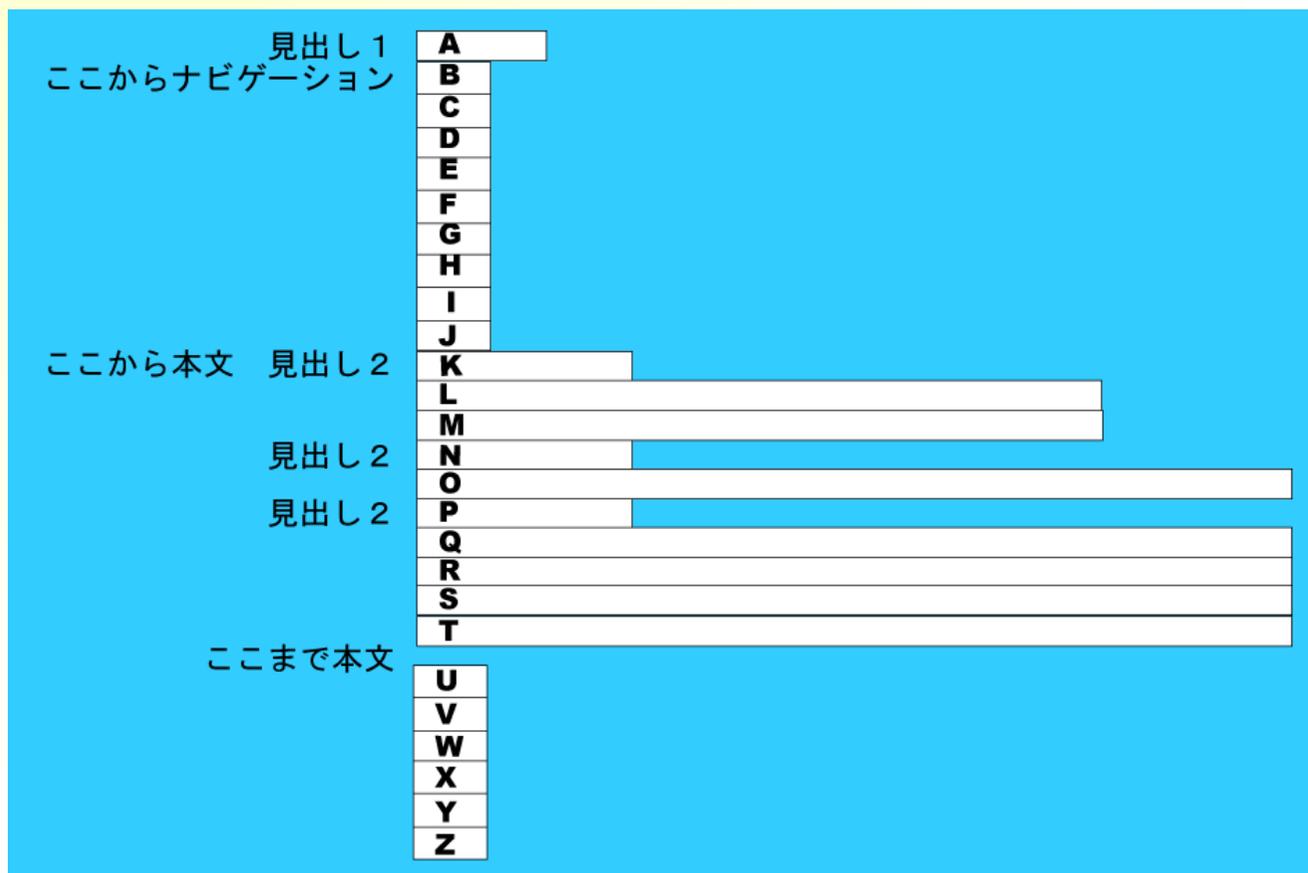
視覚ブラウザのレンダリング



音声ブラウザのレンダリング



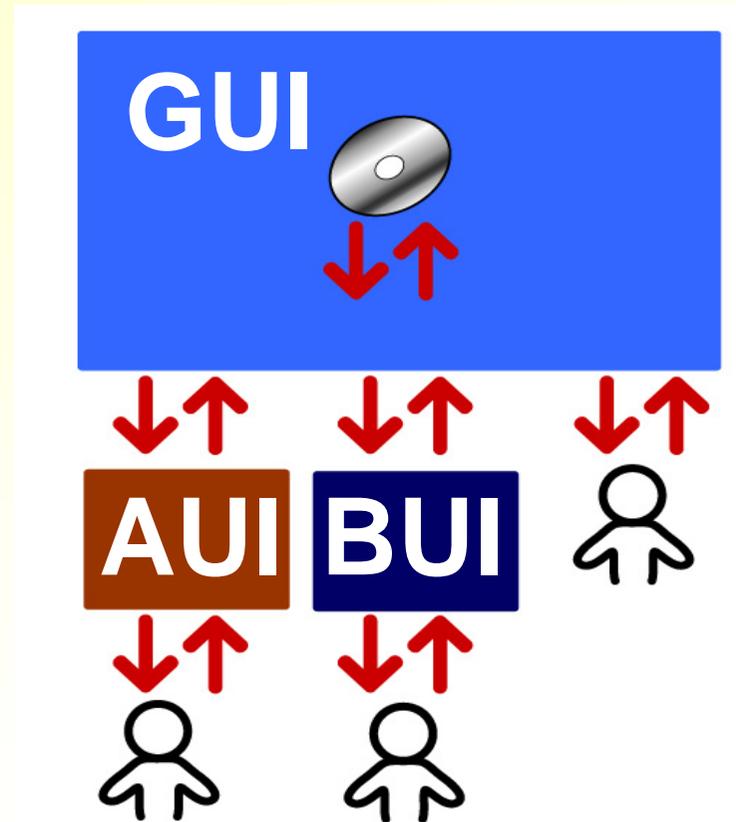
音声ブラウザのレンダリング アクセシブルなウェブページの場合



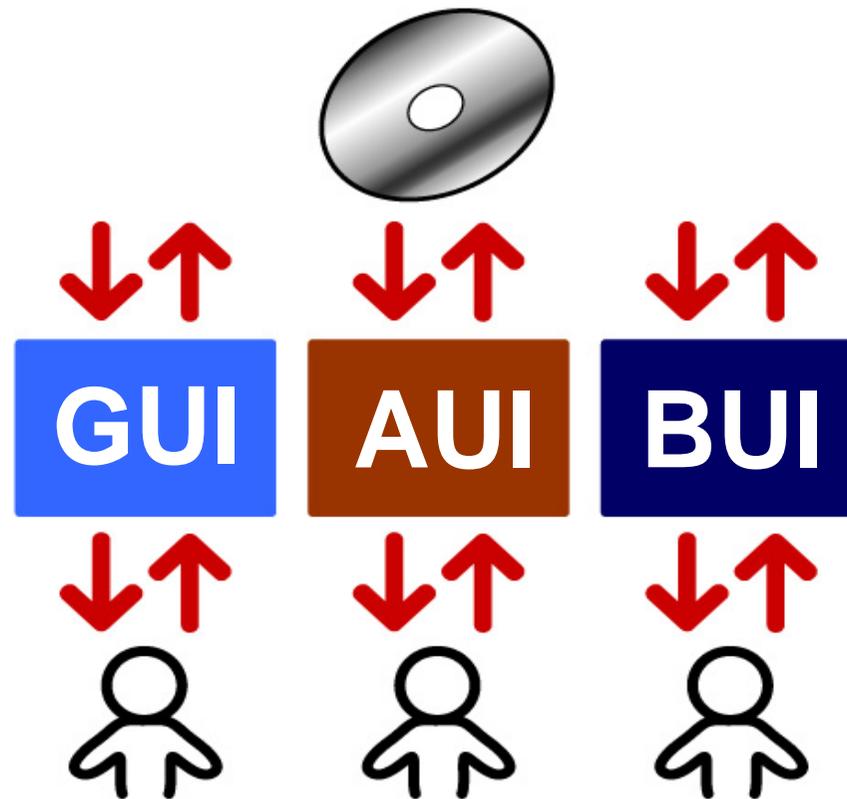
ウェブページからウェブアプリケーションへ

- Java Script
 - PDF
 - Flash
 - JAVA
-
- 電子申請
 - 電子認証

GUIはユニバーサルデザイン ではない



ユーザ・インタフェースの多文化主義



スクリーンリーダー開発の最新動向

- JAWS for Windows Ver. 6.2 日本語を
2005年にリリース
 - 自分たちの道具は自分たちで作る

JAWSの開発ポリシー

- タイムラグのないリリース
- 持続可能な開発
- 細やかなリビジョンアップ
- 日本語独自機能の強化
- スクリプト言語による各種アプリへの対応

支援技術開発ベンダーの困難

- ユニバーサルデザインの無いところでは、膨大なつじつまあわせをせざるを得ない。
(MSAA, UI Automation, etc)
- ハイリスク、ローリターンビジネス
- 開発助成の活用
- ユーザーの購買力を支援する施策の必要性

ユーザ支援

- 障害当事者の直接支援
リテラシーとサポート
- 高い専門性を持った支援職、ATトレーナーの
養成

配慮の平等

- 配慮を必要としない人々と配慮を必要とする人々がいるのではなく、配慮されている人々と配慮されていない人々がいる。
だから配慮の平等を
- ユニバーサル&ユビキタス電子情報共生社会の構築をめざす。